

参加費無料 予約不要 先着 15 組 どなたでも参加できます

あかちゃんから大人まで みんないっしょに楽しむ

おはなしの国

9月21日(土) 11:00 ~ 11:50

横浜市社会教育コーナー トレーニングルーム

どんな絵本にであうかな? どんなおはなしにであうかな?

6つのグループによる いつもとちょっとちがう おはなし多



絵本
ストーリーテリング

ペープサート



画用紙シアター

手あそび・歌



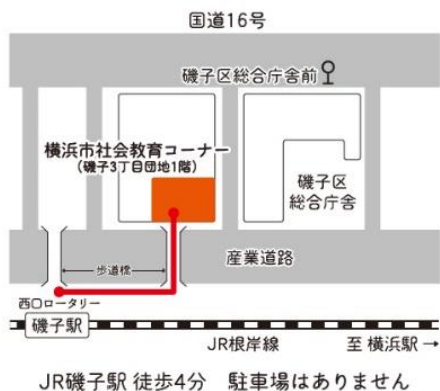
パペット人形劇



ブックトーク

哀悼の意を表し
中川季枝子の絵本、著書の紹介をします

‘やけど’ ‘ひきつけ’ ‘熱中症’ などの
対処法をかめさんやパンダさんが教えて
くれます



◎問い合わせ先 横浜市社会教育コーナー

TEL/FAX 045-761-4321

〒235-0016 横浜市磯子区磯子 3-6-1-1

URL <https://yokohama-se.net>

社会教育コーナーの管理・運営は指定管理者 NPO 法人
夢・コミュニティ・ネットワークが行っています



主催 特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク

共催 横浜市社会教育コーナー

この事業は「いそごふれあい助成金」より一部助成を受けて実施しています

おはなしの国は 月に一度読み聞かせグループが

絵本の紹介や 読み聞かせ 紙芝居 手遊びなどでおはなしの世界を広げてくれます

赤ちゃんから大人まで絵本の楽しさを知ってもらい

好きな絵本と出会える 誰もがほっとできる場所です



出演グループ紹介



① はるかぜ

2014年に社会教育コーナーで開催された「読み聞かせボランティア養成講座」の受講者で、住む場所も年齢も異なり、なんの面識もなかった4人が、「おはなしの国」での実演がきっかけで結成されたグループ。プロジェクターを利用したり、音楽を取り入れたり、手遊びをしたりと様々な趣向を考え、手作りの小道具を使うことも多い。

② 読書活動推進プロジェクト

横浜市全体を対象に、本に親しむための活動を拡げ、お互い学び合うことを目的とし、社会教育コーナーと協働で紙芝居講座や大人が楽しむおはなし会を実施。2008年横浜市教育委員会『はまっこ読書プラン』の一環として「子ども読書推進大作戦実行委員会」として発足し、事業終了後も内容を継続したボランティアグループ「読書活動推進プロジェクト」として新たに活動し続け今年で19年目。

③ デコボコドリーム

2023.4.1 発足、子どもから大人まで、幅広い年齢層に防災意識を高めて欲しいと思い、活動している。おはなし会や読み聞かせでは、手作り紙芝居の上演と防災教室などを行なっている。

これからの出演グループ予定

10月 だんかぼん

11月 うめりんこクラブ

12月 おはなしタイ

2025年

1月 カリンパ

2月 BTL コスモス

④ クローバーとてんとう虫

2020年1月、特に子育て中のパパママ世代に向けてのイベントを企画し、グループ名をクローバーとてんとう虫と改めた。前身は大人の図書室というイベントからグループ化し、怖い話、泣ける話などのテーマで読書に興味のある大人の方を対象におはなし&セッションを行った。

手遊びやスケッチブックシアター、パネルシアター、バルーンアート、折り紙、歌などを取り入れたおはなし会を行っている。

⑤ BTL コスモス

2018年に、テーマを決めて本の紹介、ブックトークを学ぶグループとして社会教育コーナーに集まる。小学校の子ども中心の読書活動に関わって来たメンバーで、当初は、公共図書館の司書を招いたブックトーク講座の開催や、自主発表会、交流会を実施。現在は、おはなし会に参加し、読み聞かせとともに、ブックトークをしている。(B=Book T=Talk L=Learners)

⑥ うめりんこクラブ

本年度で、結成23年を迎えた、梅林小学校の朝読書の時間に活動している読み聞かせボランティア団体。在校生がいる保護者やOG、地域の方々に総勢33名で活動中。

最近では、朝の読み聞かせ以外にも夏休み中や昼休みにも子どもたちに向けて、本に触れる機会を増やしている。